

患者さんへ ～間質性肺炎合併肺癌に関する臨床データの研究利用に関するお願い～
研究の名称:特発性間質性肺炎合併肺癌患者の内科治療に関する後ろ向き調査
多施設共同研究であり、当該研究の実施についてはそれぞれの研究機関の長より許可を受けております。

間質性肺炎は徐々に肺活量が減少し呼吸困難をきたす慢性疾患ですが、しばしば原発性肺癌が合併します。間質性肺炎を合併しない肺癌患者さんと比較して、抗癌剤などの治療では使用禁忌（投与してはいけない）とされる薬剤もあります。手術後や抗癌剤治療、放射線療法中に間質性肺炎が急性増悪を起こし、重篤な合併症になる場合があります。このように間質性肺炎に合併する肺癌の病状は複雑で、標準的治療がまだ確立していません。私たちは間質性肺炎の患者さんを多数診療している全国の主要な施設と共同で、2012.1 から 2013.12 の期間に間質性肺炎合併肺癌と診断した患者さんの臨床データ（喫煙、血液データ、呼吸機能検査、実施された治療内容、その効果判定など）を収集分析し、この疾患の有効な治療法を検索することを目指しています。

これらの臨床データは通常の診療で過去に記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究に関する情報の開示については

- (1) 提供者本人が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示する。
- (2) 提供者本人が情報の開示を希望していない場合は、開示しない。
- (3) 提供者以外が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示しない。

また、情報公開の方法として UMIN に登録を行っております。(UMIN ID: UMIN000018227)
本研究は、びまん性肺疾患に関する調査研究班の委託研究として実施され、患者さんの費用負担はありません。本研究の計画・実施あるいは報告において、試験の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。患者さんの臨床データは最終的には研究事務局で保管しますが、研究期間終了後 5 年を持って破棄されます。

本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究に於いて臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡下さい。

お問い合わせ先：

奈良県立医科大学 内科学第二講座

本津茂人

郵便番号 634-8522 奈良県橿原市四条町 840

電話：0744-22-3051(内線 2312)、FAX 0744-29-0907